

日本歯科大学新潟生命歯学部における育児支援の状況について

日本歯科大学新潟生命歯学部の下村（黒木）淳子です。

初めに、東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

まずは私事ですが、私には現在1歳半になる子どもが1人おり、生後3か月目より職場復帰をしました。復帰にあたり、地域の育児情報には当然のことながら常に目を通すようにしています。しかしながら、当大学における育児支援についての話は、今まで一度も聞いたことがありませんでした。今回、私が女性小児歯科医委員会の委員をさせて頂いていることから、当大学における育児支援の情報公開をしてもらいたいというお話しを頂いた際に、もしかして私の知らない情報があるのかもしれないと考え、この機会に大学の事務へ問い合わせてみました。結果は、残念ながら現在大学としては何もしていない、との返事でした。女性歯科医師のページ開設にあたっての記念すべき第1回に、このような内容でよいのでしょうか？と、かなり心配になってしまいますが、その代わりとして、私が現在、実際に育児支援を受けている状況について、報告したいと思います。上記の通り、大学としては正式な育児支援はありませんが、私が所属している医局においては、同僚の先生方がとても子育てに関して理解があるため、保育園で子どもが熱を出した、病院へ連れて行かなければならない、等といった際には、快く代診を引き受けてくれます。また、保育園のお迎え時間があるため、本来であれば午後6時までの診療時間を5時で切り上げさせてもらっています。これは、同僚の先生方のご協力の賜だと、常々感謝しています。また、私の場合は職場近くに両親が住んでいるため、何かあったときにはいつも助けてもらっています。したがって、私個人としては多方面からとても恵まれた育児支援を受けている、ということになります。当大学の他の医局の状況がどうなのかは把握しておりませんが、少なくとも小児歯科に携わる先生方に関しては、育児支援への理解がとても高いと考えられます。今後の展望としては、女性小児歯科医委員会の先生方等からご教授をいただき、やはり大学として何かしらの育児支援体制というものを確立するために活動して行けたら、と思っています。最後に、新潟市の現在の保育園情報を少し提供させていただきます。途中入園ではなかなか希望の園に、というわけにはいきませんが、4月入園であれば、ほぼ希望の園へ入れると思います。育児中、もしくは出産予定のある先生方、一緒にがんばりましょう！

日本歯科大学新潟生命歯学部小児歯科学講座

下村—黒木淳子